

2019年11月13日

各 位

会社名 フォーライフ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 奥本健二
 (コード：3477、東証マザーズ)
 問合せ先 取締役執行役員 渡辺泰寛
 管理本部長
 (TEL：045-547-3432)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表しました通期業績予想を、下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 通期業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,200	350	320	220	110.01
今回修正予想(B)	9,900	375	345	240	120.02
増減額(B-A)	700	25	25	20	—
増減率(%)	7.6%	7.1%	7.8%	9.1%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	7,977	243	217	136	68.47

2. 修正の理由

(1)分譲住宅事業

2018年第1四半期の赤字を反省し、より「マーケットイン」した対応と「肌理細やかな販売運営」を行ったことが功を奏したことに加え、昨年採用した営業人員の戦力化により順調に売上、利益ともに業容を伸ばしております。

・分譲住宅事業推移

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2018年上期	2,970	236
2018年下期	3,351	366
2019年上期	4,023	369
2019年下期計画	3,923	N/A

5月の決算説明会資料においては今期分譲住宅の売上を年間72億円としていましたが順調に推移しており、年間ベースでは79億円の売上を見込んでおります。

(2)注文住宅事業

	受注棟数	引渡棟数	売上高 (単位:百万円)	営業利益 (単位:百万円)
2018年上期	36	27	614	▲23
2019年上期	47	23	626	4
前期比	11	▲4	12	27

業界においては消費税の引上げに係る前倒し受注とその反動減がありますが、当社においてはその影響は少なく順調に推移しております。上期受注が前期比11棟増になり、年間ベースでは17億円の売上高を超える水準となっております。

昨年、一昨年採用した営業人員の戦力化、武蔵小杉展示場の活用、リターゲティング広告の活用、ホームページの改定、お客様の会実施等の諸施策が実を結んでおります。

(3)利益について

分譲住宅の販売に当たっては内税方式であり、消費税の引上げに伴い、消費税引上げ部分の利益率が悪化しますが(土地には消費税はかかりませんので、建物部分のみの影響となります)、下期の注文住宅事業の売上増加に伴う利益が貢献し、下期全体の利益は上期対比増加する見込みです。

以 上